

頃日御面談に御座候はる御國內轍道御
談より儀存思意淺見に御座候

英國に於て最近長ある機械師
フックス君の代任にて余日本政府へ左之件々
ヲ建白也

第一條

御國內何レノ地ヲ論セス政府ニオサレテ
相當ノ元金ヲ
費シテ轍道ヲ設立セトナレバ出来満全之上運用

大臣



ニ付要スル所ノ本車、遷客車、輜重、傳信線、
立場、暗號器、其外必用ノ諸物ヲ令ニ轍道一線
日本一里ニ付其價ハ洋銀七萬六千八百弗ナルベシ
レ其全價ノ百分五即五分ノ益分ヲ以テ其建築
装置悉ク余輩ニオカテ之ヲ引請クベシ

此轍道ハ鑄鐵ノ臺ヲ用ヒ鐵線同シ其中四フートハインケ半
鐵道ノ重サ一ヤード毎ニ五十磅ニシテ其製作ハ最
善美ヲ盡シ最大夫ナルヲ主トスルモノニシテ方今專ラ

歐羅巴諸洲就中英國ニオカテ用ユ所ナリ

右ノ如クスルニハ日本政府ニオカテ兼テ其筋之役負
ヲ命シ置余輩ニオカテ費用スル所ノ真ノ入用高
并其仕譯シ時々検査スルヲ得ベシ

第二條

若政府ニオカテ相當ノ費ヲ出スラ欲セズバ左之
約ヲ以テ余輩ニオカテ之ヲ施行スベシ
先ツ政府ニテ所用ノ轍道設立ノ儀ヲ免許シ

而シテ後其價ニ満ツルノ債金證書ヲ出シ此金高
 ニ附スルニ一々年九分試ノ利息ヲ確約スベシ勿論
 右證書系利息共轍道及シ其歳入ノ高ヲ以テ因
 引當トスベシ如キハ政府ニテハ府庫ノ一錢ヲ費ス
 カズシテ一轍道ヲ得ベシ何トナシハ京搦間ノ如キ地ニ
 オキテハ轍道所得ノ歳入遙ニ利息ノ上出スル
 ナリ勿論過上之利益ハ之ヲ政府ノ所得トス譬ハハ
 京搦間十里ノ轍道一日往返共遷客之數各一千

五百人宛 輸荷之重八百噸 九時ハ

一日遷客之數 三千人 但壹人
四分一

一年 三百六十
日 合シテ 二十七万三千七百五十弗

一日輸荷之重八百噸 但一噸
半

一年 三百六十
日 合シテ 十四萬六千弗

歳入惣計 四十一万九千七百五十弗

此處 轍道代價 七十六万八千弗

此一々年九分ノ利息ハ六万九千二百二十弗

運用雜費 轍道及運車修理其外

二十万。千四百八十弗

非常臨時入用三万弗

合三十万。六百弗

差引殘金

拾一万九千五百五十弗

轍道一線十里
一年全益分

右ハ方今商賈ノ形勢カラ見テ算ラズル所ナリ然リトイ
ハ氏轍道成就ノ際ニ至ラズ商賈ノ勢今日ノ數倍

ニ至ラズト不待論ニテ瞭然タリ

若又轍道ヲ西京ヨリ琵琶湖ニ通シ湖水ヨリ又

之ヲ西海ニ連ヌルニ於テハ商賈ノ勢倍成ス大ラ極ム

ルニ至ラン

重轍道ヲ設立スルハ徒ラニ大金ヲ費シ又未利堅ノ

則ニ從ヒテ之ヲ設ル時ハ終復ノ費廣大ナル故ニ必

竟之等ハ捨テ、問ハス總テ鐵製衣ノ輕轍道ヲ

設ケ玉ハント余輩ノ最希望スル所ナリ夫ハ一字間

出張 兵庫 大 齋 齋

三十マイルスヲ走ルノカアルモノナレバ御内商實ノ用満全
セルモノト云フベシ

右轍道彌所設之之期ニ至リ候ハ、余輩建言
之次第御採用之程奉伏祈候并具謹言

於大坂午首七十年第四月廿六日 テー、ウラトルス

井上造幣頭殿

閣下